

LIXIL

外付ブラインド EB

施工・メンテナンスガイド（社外用）



作成	:	2022年 1月 7日
----	---	-------------

改定	:	2024年 12月 2日
----	---	--------------

目次

このガイドでは外付ブラインドEBについて説明しています。対応フローで案内している内容で対応をしてください。

対応フロー

取付け、リモコンの追加、リモコンで動かない等	1
ブラインドが正常に動かない、製品概要	2

A:製品概要・構造説明

注意事項	A1
外付ブラインドの構造について	A2
外付ブラインド概略図	A3
リモコン概要	A4～A5
制御ユニットの仕様について	A6
風力・陽光センサーについて 1	A7
風力・陽光センサーについて 2	A8
その他	A9
メンテナンス部品	A10
動画一覧	A11

B:施工・設定方法

※このマニュアルでは施工方法についての詳細内容の記載はしていません。

施工方法詳細についてはボックス同梱の説明書を参照ください。

C:メンテナンス方法

施工手順について	C1
商品注意ラベル・ロット番号の確認方法	C2
制御ユニットの設定変更	C3
下限位置の設定変更	C4
下限位置の設定を間違えた場合	C5(1)
下限位置の設定を間違えた場合(逆巻きにより全開)	C5(2)
上限位置がズレてしまった場合(開スイッチを押しても全開にならない)	C6
ブラインドユニット取付けを逆のまま下限設定をしてしまった場合	C7
初期動作確認	C8
お気に入り位置の登録のしかた	C9
お気に入り位置の使い方	C10
お気に入り位置の登録解除のしかた	C11
陽光センサーのON/OFFのしかた	C12
制御ユニットへのアクセス方法	C13
オールクリア方法	C14
リモコン登録方法（制御ユニットへの登録）	C15
追加リモコン登録方法（リモコン）	C16
追加リモコン登録方法（風力・陽光センサー）	C17
追加リモコンの削除方法	C18
制御ユニットの交換	C19～C20
モータの交換	C21
スラットの交換	C22
リフティングテープの交換	C23～C26
テイルディングテープの交換	C27～C29
スラット片下がりの補修方法(リフティングテープの補修)	C 30(1)～C30(2)

対応フロー

[目次に戻る](#)

現象1	現象2	対象	原因	対処方法	参照資料	結果確認
取付けをしたい	ブラインドユニット(本体)/ガイドレール/ボックスの取付けをしたい		-	-	ボックス同梱の取付け説明書を参照	
リモコンの追加登録をしたい	リモコンの追加をしたい		-	本来は実施なし	C-16参照 お施主様用取扱い説明書を参照	
追加したリモコンを削除したい			-	-	C-18参照 お施主様用取扱い説明書を参照	
リモコンをなくした	リモコンを1台登録したい		-	-	C-14~16参照	
外付ブラインドの下 限位置を変えたい					C-4参照 お施主様用取扱い説明書を参照 取付け説明書記載の動画を参照	
リモコンで動かない	制御ユニットのLEDが光っていない		電源が供給されていない 配線が外れている 制御が故障している	電源、配線を確認して 電源が来ているようであれば制御交換	C-13,19,20参照	
	リモコンのLEDは光るが製品が反応しない		リモコンのチャンネルの設定が間違っている	外付ブラインドを設定してあるチャンネルにする	お施主様用取扱い説明書を参照	
	リモコンのLEDも光らない		電池切れ、もしくはリモコンの故障	電池交換をしても動かない場合はリモコン交換	お施主様用取扱い説明書を参照	
	制御ユニットは反応するがモータが動かない		モータのサーマル機能が働いて、動かない状態になっている	15分ほど外付ブラインドを休ませてから動作させる	お施主様用取扱い説明書を参照	
			モータのコネクタと制御ユニットのコネクタが外れている	コネクタを接続し直す	C-13、19参照	
			モータが故障している	モータを交換する	C-21参照	
ブレーカーが落ちる			100V電源線が短絡している (壁内、ボックス内)	ボックス内は補修、壁内は工務店様へ依頼	テスターによる確認	
			ボックス内の配線が短絡している	補修もしくは交換	テスターによる確認	

対応フロー

[目次に戻る](#)

現象 1	現象 2	対象	原因	対処方法	参照資料	結果 確認
外付ブラインドが 正常に動かない	引っ掛けて降りてこない		レール内が汚れている	レール内のごみを取り除く		
			建付けがズれている	建付けを修正する	取付け説明書	
			テープ類が破損している	テープの交換	C-23～29参照	
			スラットが変形・破損している	スラットの交換	C-22参照	
	開スイッチを押しても 上限までいかない		上限位置がズれている	上限位置の設定	C-6参照	
	下限が反転して止まる		下限位置がズれている	下限位置の設定	C-5(1),(2)参照	
	外付ブラインドが勝手に 開いてしまう		風力・陽光センサーの 電源が供給されていない 風力・陽光センサーの 配線が外れている	電源・配線を確認して ください	A8参照	
			風力・陽光センサーを 外しても、制御に登録が 残っている	制御に残っている 風力・陽光センサーの 登録を解除する	A8参照	
製品の概要を知り たい			-	-	A1～11参照	
スラットが片下がり している			異物を挟んだ状態で閉動作 したため、リフティングテープが 折れ曲がっている	リフティングテープを補修 する	C30・C4参照	

外付ブラインドEBにおいて、下記事項をご注意ください。

<保証電圧について>

設定は電圧が保証電圧範囲内にあることを確認してから行ってください。

仮設電源の保証電圧範囲……………A C 9 5 V ~ 1 0 7 V

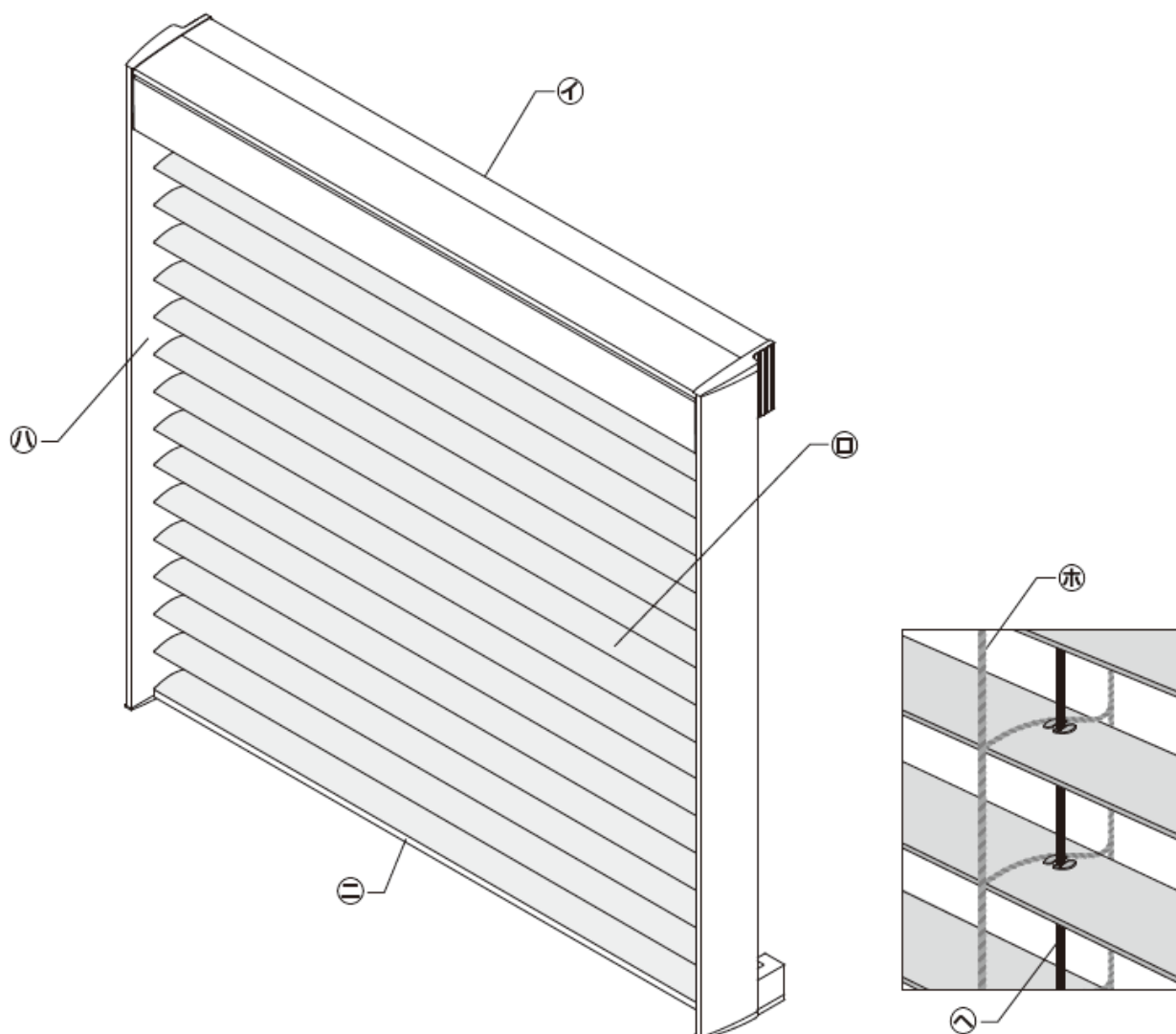
<設定変更について>

- ・ 設定変更をする際、設定変更後に動作等に問題が起きていないかを確認してください。

※このマニュアルでは施工方法についての詳細内容の記載はしていません。
施工方法詳細についてはボックス同梱の説明書を参照してください。

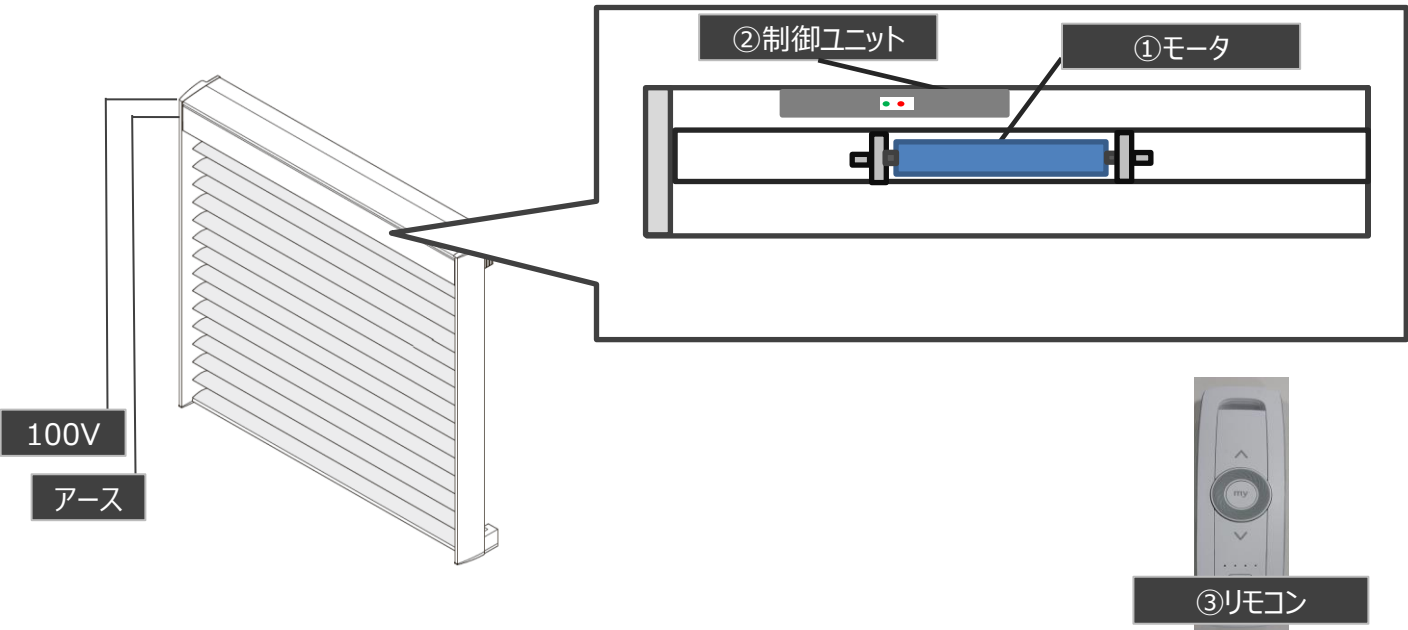
外付ブラインドの構造について

ここでは外付ブラインドの構造について説明します。



●各部のなまえとはたらき

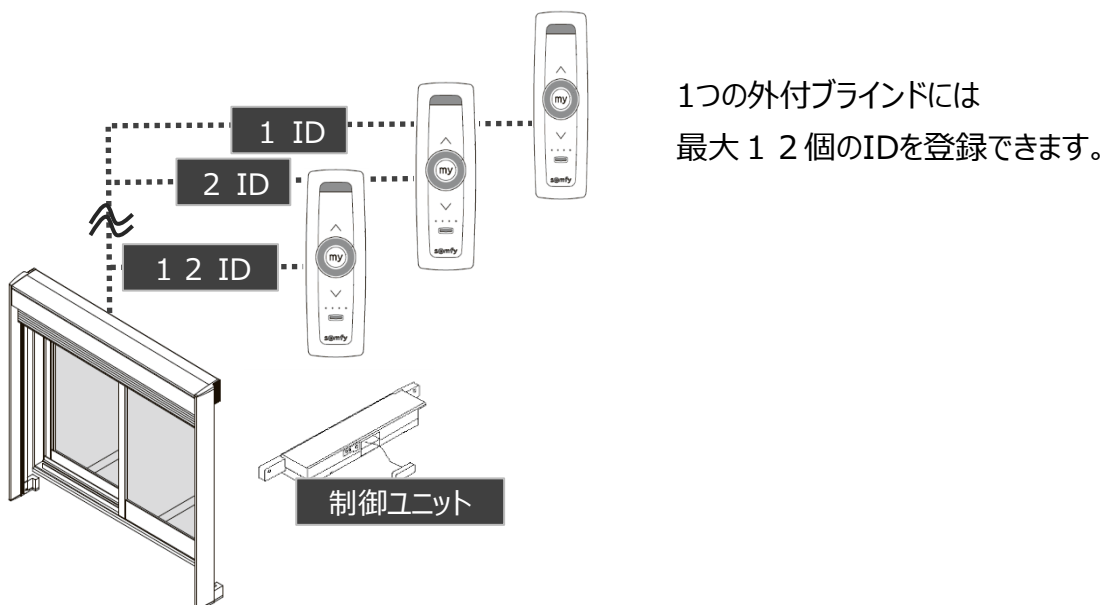
記 号	なまえ	はたらき
①	ユニットケース	モーターなどを収納する部分です。モーターなどの点検口です。
②	スラット	カーテン部分です。
③	ガイドレール	両側にあり、スラットの動きを誘導します。
④	ボトムスラット	スラットの最下部の部材です。スラットを安定させる役割です。
⑤	ティルティングテープ	スラットを吊っているテープです。
⑥	リフティングテープ	



部品名称		仕様・機能
①	モータ	ブラインドユニット内蔵のモータ。 外付ブラインドの開閉動作をします。
②	制御ユニット	リモコンの電波の受信およびモータの動作制御をしています。
③	リモコン	電波式のリモコンです。 特定省電力無線を使用しており、5 秒以上の連続操作はできません。

リモコン概要

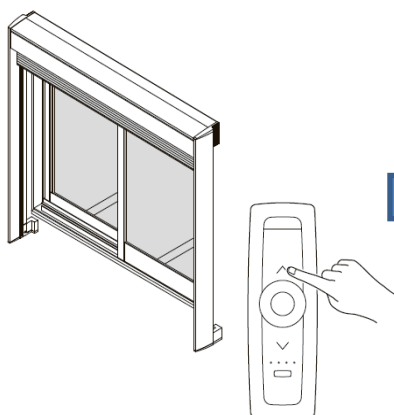
外付ブラインドで使用しているリモコンは各リモコンごとにIDを5個保有しており、その数は1600万通りです。



リモコンのセキュリティー概要

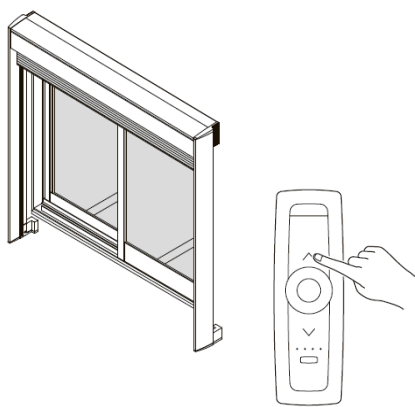
リモコンの1つのIDに対して1つのローリングコードを付与します。ローリングコードは6万5千通りあり1回操作することに1つコードの値が変わります。外付ブラインドは制御側に登録したIDとローリングコードが一致しないと動作しません。

操作1回目



ローリングコード：1

操作2回目

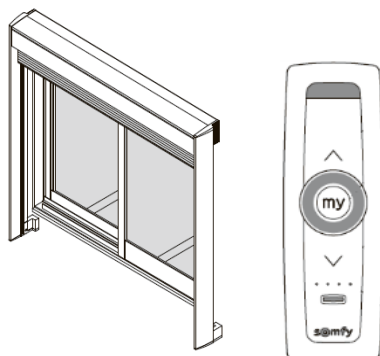


ローリングコード：2
対応コード2～501

外付ブラインドが停電になっている状態で、リモコンを操作してもローリングコードは1つつ上がっていきます。1回目に操作したときのローリングコードに対して+500までずれても操作は可能です。ローリングコードがそれ以上ずれた場合（500回以上操作した場合）外付ブラインドを操作することはできなくなります。

リモコン登録

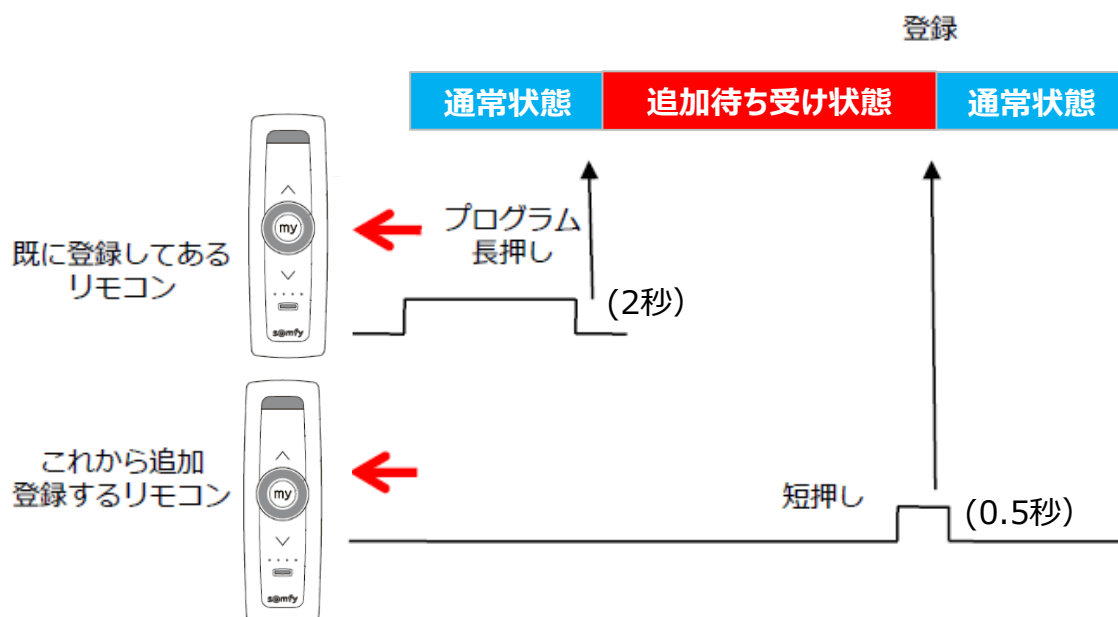
外付ブラインドで使用しているリモコンのプログラムボタンは押す時間によってできることが変わります。



- ・プログラムボタンを2秒長押しする⇒追加リモコンの登録待ち受け状態にする。
- ・プログラムボタンを短く（0.5秒）押す⇒追加したい（した）リモコンの追加（削除）を実施する。

※秒数によって状態が変わります。追加するリモコンを本来であれば0.5秒押すところ、2秒以上押すとそのリモコン自体が待ち受け状態になってしまい、既に登録してあったリモコンが操作できない状態になるので注意が必要です。

※待ち受け状態になっても追加、削除の操作をしない場合は2分経過すると、もとの状態に戻ります。

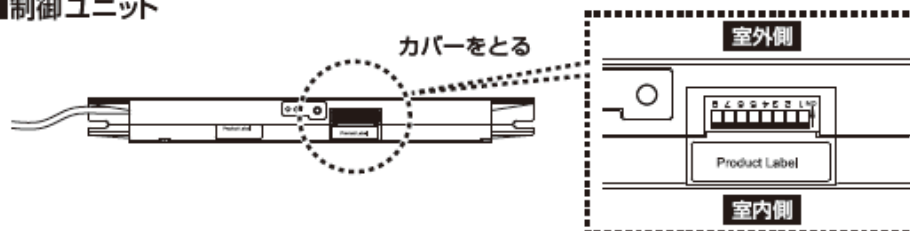


追加登録して、既に登録されているリモコンが操作できない等発生した場合、このプログラムボタンの押す時間が間違っている可能性があります。その場合、オールクリアを実施して最初のリモコンを登録し、再度リモコンの追加を実施してください。

制御ユニットの仕様

外付ブラインドで使用している制御ユニットについて説明します。

■制御ユニット



外付ブラインドの制御ユニットには、設定を切り替えるDIPスイッチが設けられています。

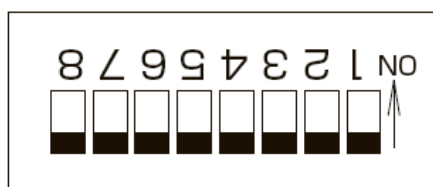
取付け時には、指定箇所（5.6.7番）以外は動かさないようにしてください。

設定を誤ると正常に動作しなくなります。

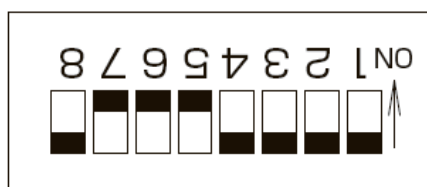
※出荷時には全てのスイッチがOFFになっています。

※設定の際は、取付け説明書に従って5.6.7番を上げてください。

■出荷時

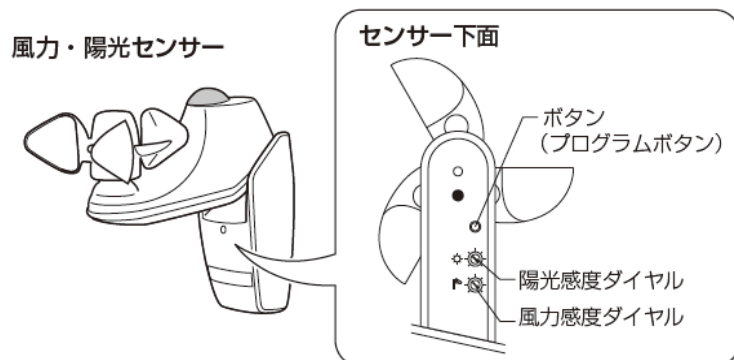


■5番と6番と7番ON

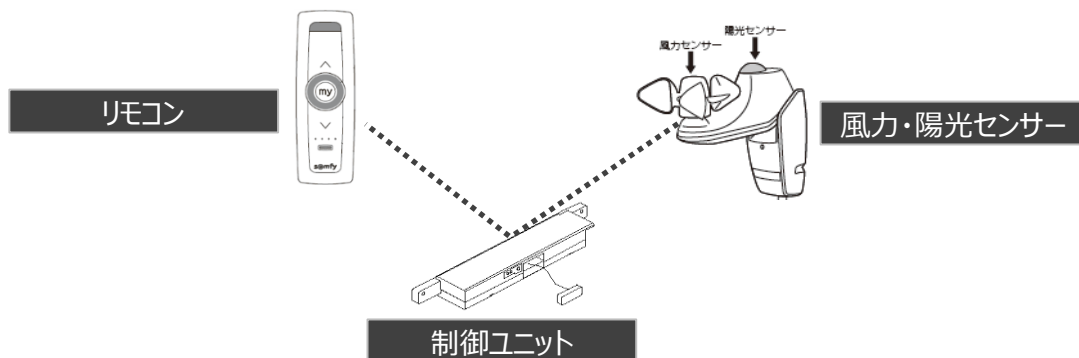


風力・陽光センサーについて

ここではオプションの風力・陽光センサーについて説明します。



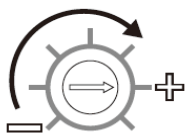
オプションの風力・陽光センサーは、風や光を検知すると制御ユニットに開または閉信号を送信するしくみになっています。



風力センサー、陽光センサーそれぞれ設定ができます。感度の設定は現場状況に応じて設定してください。また、設置位置によっても反応が変わりますので、各現場状況に応じてビルダー様等に相談の上、設置位置を決定してください。

■風力センサー設定

増加する



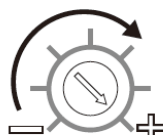
4目盛を目安に現場状況に合わせて設定してください。

●ダイヤル位置と検知感度

風力感度ダイヤル	風力検知感度 (m/秒)	起こりうる現象
+(6目盛)	13.0	大枝が動く。電線が鳴る。傘がさしにくい。
5目盛	11.0	
4目盛	9.0	葉のある灌木がゆれはじめる。池や沼の水面に波頭がたつ。
3目盛	7.0	砂埃がたち、紙片が舞い上がる。小枝が動く。
2目盛	4.5	木の葉や細かい小枝がたえず動く。軽く旗が開く。
-(1目盛)	3.0	顔に風を感じる。木の葉が動く。

■陽光センサー設定

増加する



季節や地域条件により、お好みの明るさで設定してください。

●ダイヤル位置と検知感度

陽光感度ダイヤル	陽光検知感度 (ルクス)	明るさの目安
+(7目盛)	55,000	晴天の昼間
6目盛	47,000	
5目盛	35,000	
4目盛	28,000	晴天の夕方
3目盛	22,000	曇りの昼間
2目盛	15,000	
-(1目盛)	9,000	

風力・陽光センサーの登録解除について

風力・陽光センサーを使用しない場合や風力・陽光センサー自体を外した場合、必ず外付ブラインドから風力・陽光センサーの登録を解除してください。

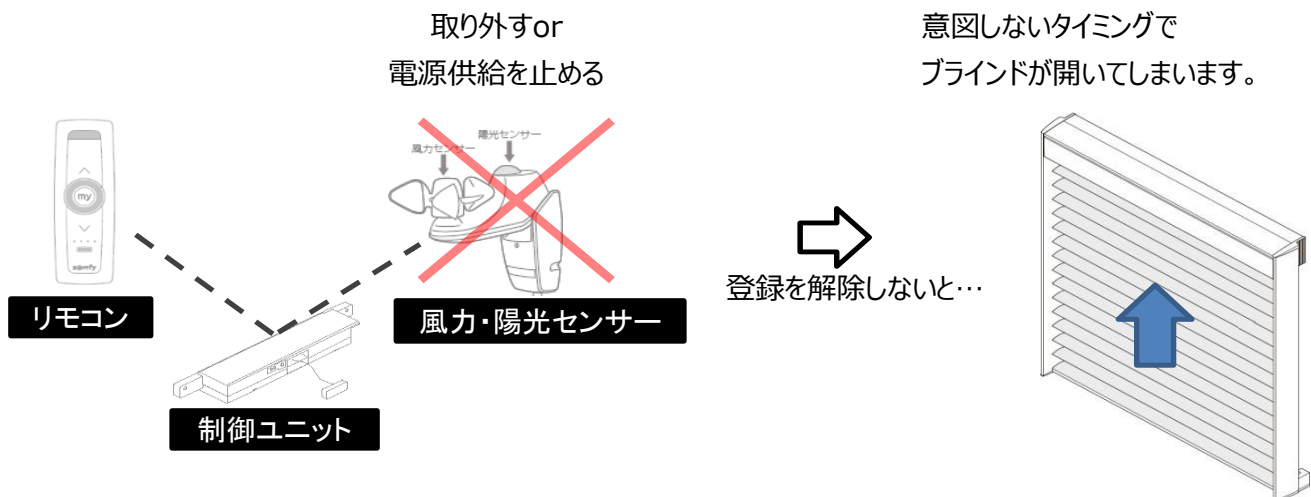
登録した風力・陽光センサーに電源が供給されていないと、外付ブラインドが意図せず全開まで動きます。

登録解除の手順については、マニュアルのC17ページをご参照ください。

風力・陽光センサーを外付ブラインドに登録すると、

外付ブラインドは定期的に風力・陽光センサーとの通信を試みます。

風力・陽光センサーからの応答がないことが続くと、システムはこれを故障と判断し安全を考慮して外付ブラインドを全開にする設定としています。



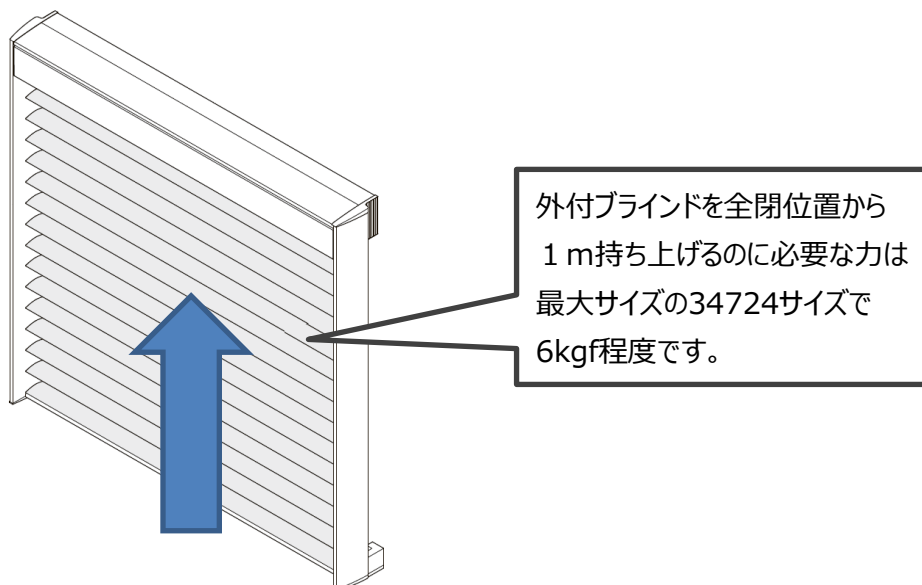
安全装置について

ここでは安全装置について説明します。

外付ブラインドには窓シャッターに装備されているような安全装置は装備されていません。

万が一、外付ブラインドを設置している開口部から脱出する場合、外付ブラインドを下限から1 m上げるのに必要な力は6 kgf程度です。（34724サイズの場合）

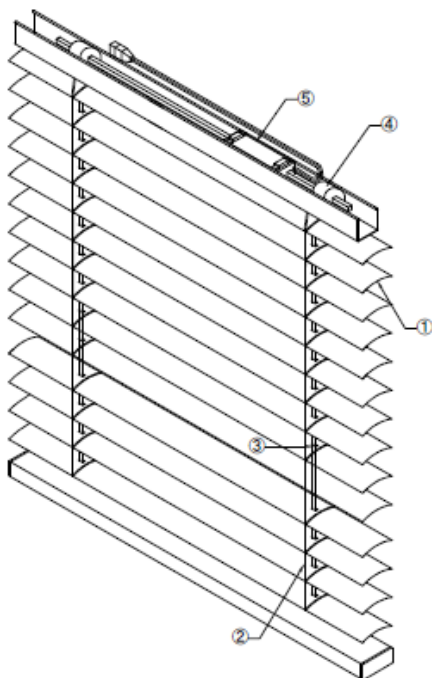
開口サイズが小さければ、この荷重より小さくなります。



メンテナンス部品

ここではメンテナンス部品について説明します。
外付ブラインドのメンテナンスに必要な部品は下記の通りです。
必要に応じて発注の上、対応をしてください。

外付ブラインド本体に必要な部品

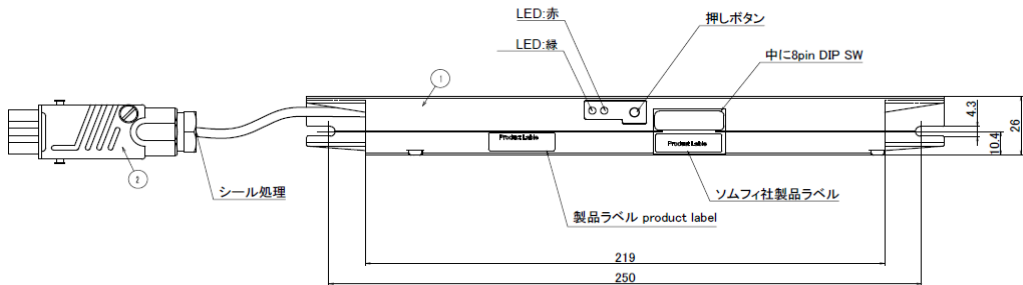


	部品番号 (B-商品コード 枝番)	スラットカラー	スラット幅	部品名称
①	B-B-165-HZBE	RAL 7038	1794	スラット W165用 アイレット、外れ止め部品(ガイディングニップル)付
	B-A-165-HZBE	RAL 9010		
	B-C-165-HZBE	W 7329		
	B-E-165-HZBE	W 4922		
	B-B-256-HZBE	RAL 7038	2704	スラット W256用 アイレット、外れ止め部品(ガイディングニップル)付
	B-A-256-HZBE	RAL 9010		
	B-C-256-HZBE	W 7329		
	B-E-256-HZBE	W 4922		
	B-B-347-HZBE	RAL 7038	3614	スラット W347用 アイレット、外れ止め部品(ガイディングニップル)付
	B-A-347-HZBE	RAL 9010		
	B-C-347-HZBE	W 7329		
	B-E-347-HZBE	W 4922		
②	B-X-01-HZBF	グレー	-	ティルティングテープ(ブラインドH=2430)
	B-Y-01-HZBF	ブラック		
③	B-X-01-HZBG	グレー	-	リフティングテープ(ブラインドH=2430)
	B-Y-01-HZBG	ブラック		
④	B-Z-01-HZBJ	-	-	テープホルダー
⑤	B-Z-01-HZBH	-	-	モーター+コネクタ+メス(コード長さL≥800mm)

リモコン・・・HAD-44



制御ユニット・・・HAD-42



ここでは、外付ブラインドEBに関する動画を紹介します。
必要に応じて下記QRコードより動画を確認してください。

現場調査編



6010960684001

施工編



6010963794001

設定・確認編



6010963013001

風力・陽光センサー編



6010959637001

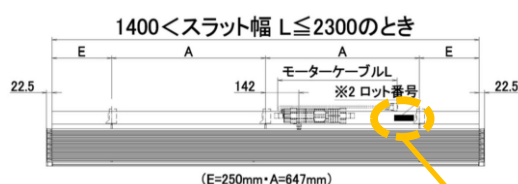
外付ブラインドは下記の手順で施工を実施します。
 実施内容詳細は取付け説明書を参照してください。
 ここでは全体の流れについて説明します。

リモコン仕様

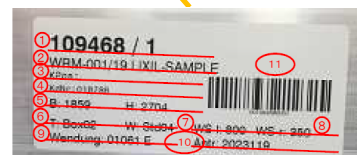
0.電源電圧の確認



- 1.ブラインドユニットの取付⇒・ブラインドユニットのラベルを確認し、ロットナンバーラベル貼付け面が**室内側**になるように取付ける。
 ・**動作不良**につながるため、配線は外付ブラインドに干渉しないよう処理してください。
 ※配線の詳細はA11ページの動画（施工編）を確認してください。



- 2.リモコンの登録⇒工場出荷時に実施してありますので、初期は設定不要です。



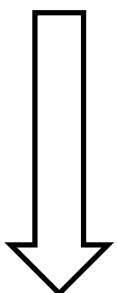
ロットナンバーラベル



- 3.下限の設定



- 4.動作確認
・通常動作



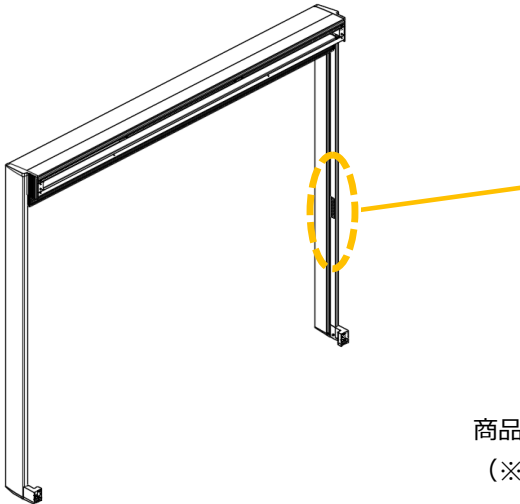
- 5.引渡し説明

外付ブラインドはWサイズでの特注はなく、規格サイズのみになります。
 Hサイズはガイドレールのみ特注対応を行い、
 H24（ブラインドユニット本体サイズ）をH18～H24、
 H15（ブラインドユニット本体サイズ）をH11～H15で
 使うようにしており規格サイズ（H24、H15）を取り付け後、
 下限位置を設定します。
 ※HサイズがH24、H15の場合は下限設定は不要です。

商品注意ラベル・ロット番号の確認方法

[目次に戻る](#)

■ 商品注意ラベルの確認方法

作業手順	注意事項・ポイント
 商品注意ラベル (※外観左側のみ)	商品注意ラベルを確認します。 商品注意ラベルは、ガイドレール (外観左側) に貼ってあります。

■ ブラインドユニットのロット番号の確認方法

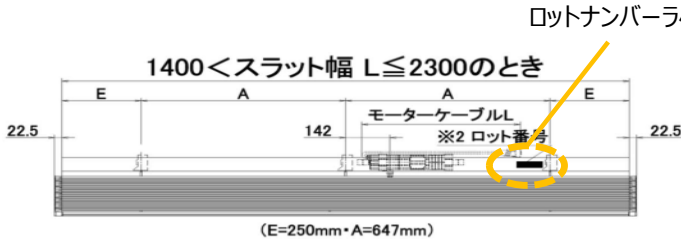
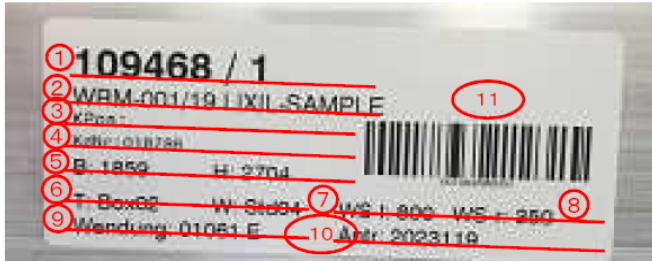
作業手順	注意事項・ポイント
 ロットナンバーラベル 1400 < スラット幅 L ≤ 2300 のとき 22.5 142 22.5 モーターケーブルL ※2 ロット番号 (E=250mm・A=647mm)	ロットナンバーラベルを確認します。 ロットナンバーラベルは、ブラインドユニットに 貼ってあります。
	ロットナンバーラベルの意味は 表1 を確認してください。

表 1

①	109468/1	オーダーナンバー/ポジションナンバー
②	WRM-001/19 LIXIL SAMPLE	ロット番号/プロジェクト名称
③	Kpos * * * *	カスタマーポジションNO (顧客が付けた任意の名前: EVB-1 etc)
④	KdNr:018786	オスモ&エーデル社のコード番号
⑤	B:1859 H:2704	製品のW・H寸法
⑥	T:Box02 W:Std04	T: 部品が入っていた箱の番号 W: 作業計画時間管理番号
⑦	WS-1:800	内観モーター左側の連結ロッドの長さ寸法
⑧	WS-r:350	内観モーター右側の連結ロッドの長さ寸法
⑨	Wendung:01061E	ベアリングの機能番号
⑩	Antr:2023119	Elero JA05 100Vモーターの記号
⑪	バーコード	製品の管理コード

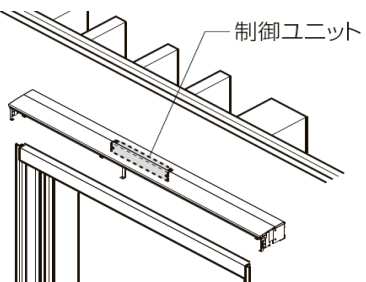
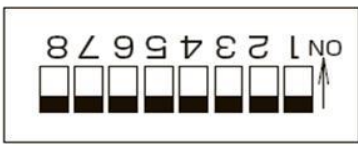
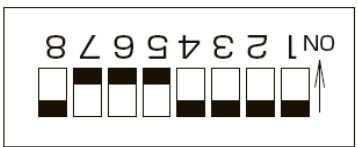
※オーダーナンバーとは: 製品注文製造番号

※ポジションナンバーとは: オーダー数量の連番 (連番は100まで101以降はオーダーナンバーが変更になる)

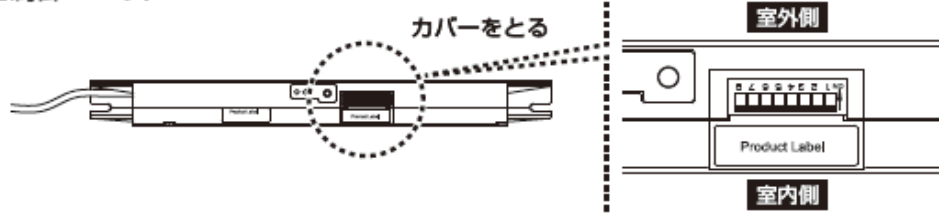
制御ユニットの設定変更

[目次に戻る](#)

ここでは制御ユニットの設定変更について説明します。

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	 ■出荷時 	出荷時は制御ユニットのDIPスイッチは全てOFFになっています。
2	■5番と6番と7番ON 	ユニットケース取付けの際、DIPスイッチの5番、6番、7番をONにしてください。

■制御ユニット

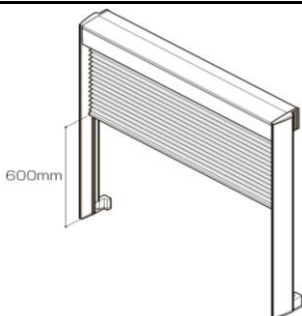
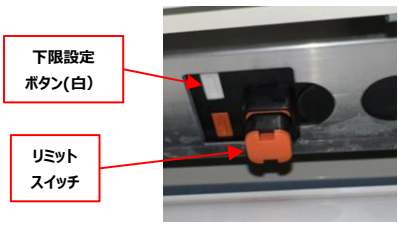
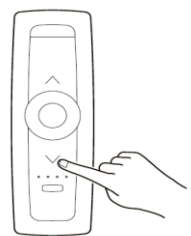
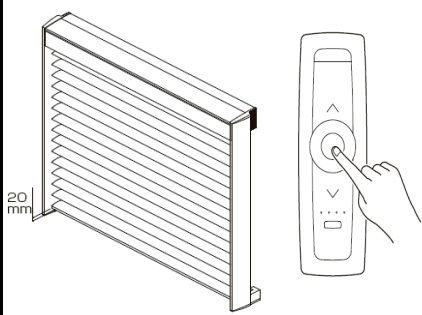
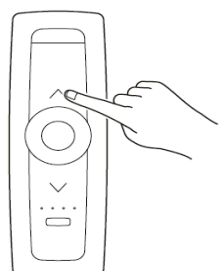


出荷時、ユニットケース内の制御ユニットのDIPスイッチは全てOFFの状態になっています。
カバーを外してDIPスイッチの5番と6番と7番をONにしてください。変更後、必ずカバーを取付けてください。

下限位置の設定変更

[目次に戻る](#)

外付ブラインドはH24（ブラインドユニット本体サイズ）でH18～H24の対応、H15（ブラインドユニット本体サイズ）でH11～H15を対応させるため、H24,H15以外で使用する場合は、下限位置の設定変更が必要になります。

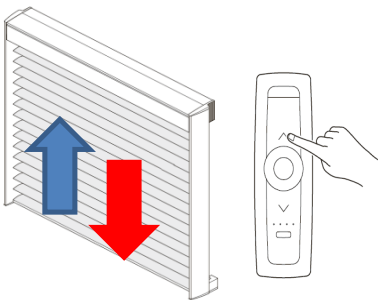
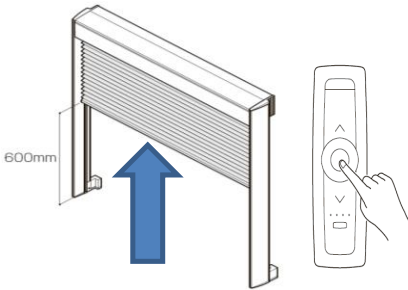
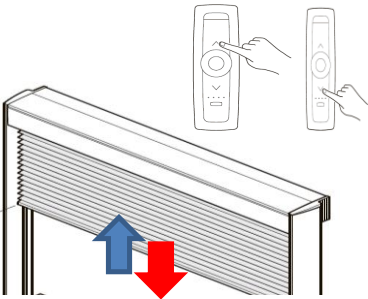
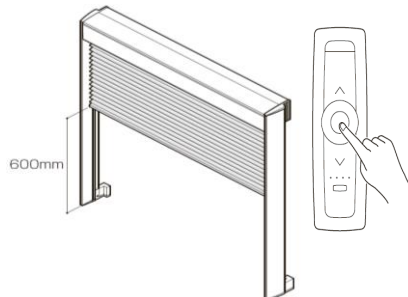
No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	 600mm	下限に設定したい位置から上部600mm程度の位置まで外付ブラインドを動かし停止スイッチで外付ブラインドを停止させます。 ※ブラインドユニット下部(ユニットケース内)のオレンジボタンは押さないでください。 上限の設定がズれてしまいます。
2	 下限設定ボタン(白) リミットスイッチ	ブラインドユニット下部（ユニットケース内）のモータの下限設定ボタン（白）とリミットスイッチを同時に押し込みます。 ※外観から見て手前側がオレンジボタンの場合、ブラインドユニット(本体部)が逆向きに取付いています。 正しく設定ができないため、正しい向きに取り付け直してください。
3		下限設定ボタン（白）とリミットスイッチを押し込んだまま、リモコンの閉スイッチを押して、外付ブラインドを下降させます。 ブラインドの下降が始まると、下限設定ボタン（白）が固定されるので下限設定ボタン（白）とリミットスイッチから手をはなして問題ありません。 ※押し込んだ状態で固定されない場合は再度No.1から実施してください。
4	 20mm	下限設定位置（ガイドレール下端から20mm±10 mm上の位置）で停止スイッチを押して外付ブラインドを停止させます。 ※下限位置で停止スイッチを押さなかった場合、上昇していきます。 すぐに停止スイッチを押してブラインドを停止させてください。 停止スイッチを押さず上限まで作動させると破損する可能性があります。 ※No.3の操作後、リモコンの停止スイッチと閉スイッチで位置の調整は可能ですが、開スイッチを押してしまうと下限設定が完了してしまうので注意してください。
5		リモコンの開スイッチを押して外付ブラインドを開方向に作動させます。 この時、モータの下限設定ボタン（白）が戻り、設定が完了します。 その場合は、開スイッチを押してNo.1の下限に設定したい位置から上部600mm程度の位置まで作動させてください。 その後、開スイッチで上昇、閉スイッチで下降することを確認し、No.1の操作からやり直してください。

下限位置の設定を間違えた場合

[目次に戻る](#)

下限位置をガイドレール下限から20mmの位置を超えて下げてしまった場合、外付ブラインドの動きが
反転してしまいます。この場合は、下記の手順で対処してください。

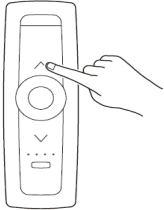
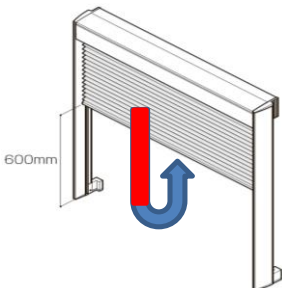
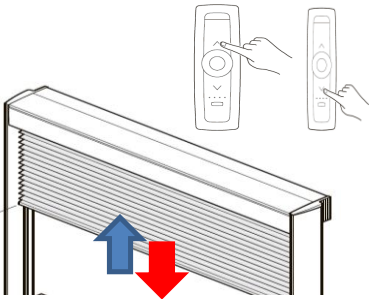
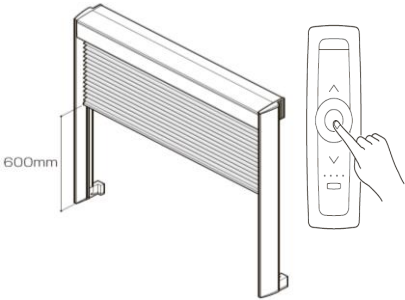
※オレンジボタンを押しても下限位置は直りません。

No.	作業手順		注意事項・ポイント
1		リモコンの停止スイッチを押します。	停止スイッチを押さずに上限まで動かした場合、リフティングテープが切れ破損します。
2		開スイッチを押してください。 はじめに、ブラインドが下降しますが、異常ではありません。 そのまま下限まで行き上昇します。	万が一、下限位置を通り過ぎてから停止させ、開スイッチをおしても下がらなくなってしまった場合は、手でブラインドを下に押し込みながら開スイッチを押してください。
3		下限位置から600mm程度の位置で停止スイッチを押し、停止させてください。	
4		開スイッチで上昇、閉スイッチで下降することを確認してください。	
5		確認後、下限に設定したい位置から上に600mm程度の位置で停止スイッチを押し、停止させてください。 再度、下限位置の設定変更手順を実施してください。	

下限位置の設定を間違えた場合（逆巻きにより全開）

[目次に戻る](#)

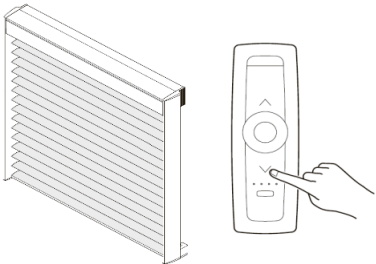
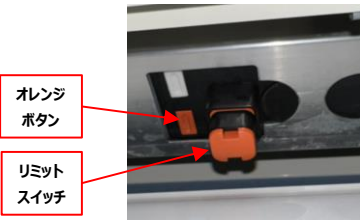
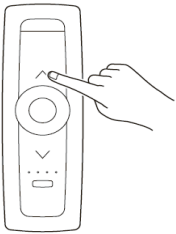
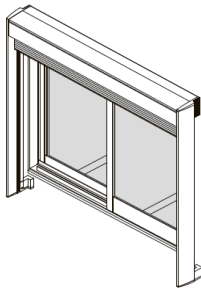
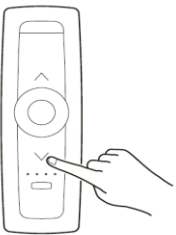
下限位置がガイドレール下限から20mmの位置を超えて、外付ブラインドが
反転し全開まで動作してしまい動かなくなった場合、下記の手順で対処してください。

No.	作業手順		注意事項・ポイント
1		手でスラットを下に押し込み、リミットスイッチからスラットを離します。	下限設定時に反転し全開した状態では、リミットスイッチが押されているため、開操作ができません。 ※この場合、開ボタンを押すと下降します。
2	N o 1 の状態のまま 	N o 1 の状態のまま、リモコンの開スイッチを押します。 ※はじめにブラインドが下降しますが、異常ではありません。	閉スイッチを押すと、更に巻き上がりリフティングテープが切れ破損します。 ※リフティングテープが逆巻きになっているため、リモコンと逆の動作になっています。 そのまま下限まで下降し上昇します。
3		下限位置から600mm程度の位置で停止スイッチを押し、停止させてください。	
4		開スイッチで上昇、閉スイッチで下降することを確認してください。	
5		確認後、下限に設定したい位置から上に600mm程度の位置で停止スイッチを押し、停止させてください。 再度、下限位置の設定変更手順を実施してください。	

上限位置がズレてしまった場合（開スイッチを押しても全開にならない）

[目次に戻る](#)

ブラインドユニット下部（ユニットケース内）のオレンジボタンを押してしまうと上限位置がズレてしまいます。
下記の手順で**上限位置の再設定**をしてください。

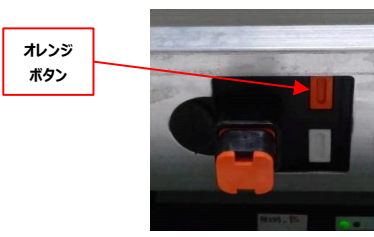
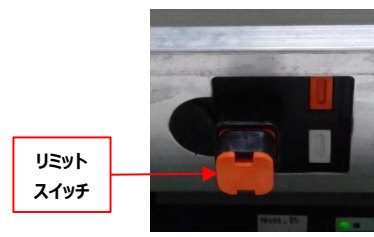
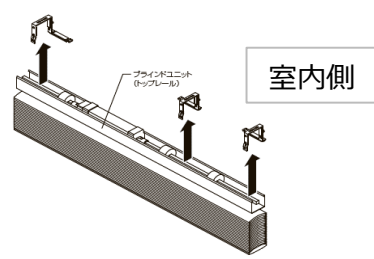
No.	作業手順	注意事項・ポイント
1		閉スイッチを押して下限に設定されている位置まで動かします。 上限・下限両方共ズレている場合は、上限を先に設定してください。 ※下限位置が反転して全開の場合は全開になる前に停止スイッチで止めてください。 （リミットスイッチに当たるとスラットが変形するため。） ※下限位置とは…閉スイッチを押して止まる位置
2		オレンジボタンを押し込みます。 オレンジボタンを押し込めない場合は開スイッチを押して位置をズラして（ブラインドを少し動かす）再度行ってください。
3		オレンジボタンを押し込んだままリモコンの開スイッチを押してください。 動き出したらオレンジボタンから手を放してください。押し込んだ状態で固定されます。 ※押し込んだ状態で固定されない場合は再度No.1から実施してください。
4		リミットスイッチを押して全開になり止まります。 ※動作中はリモコン操作は不要です。
5		No.4で全開で止まったら閉スイッチを押してください。 設定完了です。 押し込んだ状態のオレンジボタンが元に戻ります。

ブラインドユニット取付けを逆のまま下限設定をしてしまった場合

[目次に戻る](#)

ブラインドユニットを表裏逆（ユニットのラベルが室外側にある）に取り付けたまま下限設定を行うと、手前側がオレンジスイッチ（上限設定）になり、誤って押してしまう場合があります。

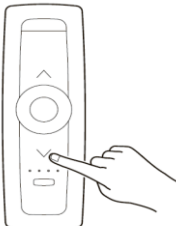
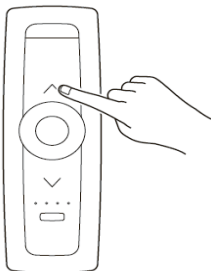
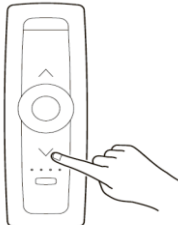
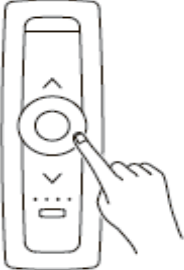
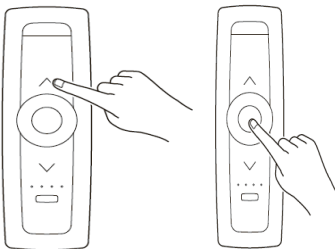
そうすると、開スイッチを押しても上限まで上がらなくなるなど正しく動かなくなります。その場合は下記の手順で対処してください。

No.	作業手順		注意事項・ポイント
1		上限位置がずれてしまった為、上限位置を再設定します。 オレンジスイッチを押しこんだまま、リモコンの開スイッチを押します。	※オレンジスイッチは押し込んでください。 動き出したらオレンジスイッチから手を放して問題ありません。 ※ユニットを逆に取り付けてる場合、オレンジスイッチは室外側になっています。
2		全開まで行くとスラットがリミットスイッチに当たって止まります。止まったら閉スイッチを押します。上限の再設定が完了します。	閉スイッチを押すと下に動きだしますのですぐに停止スイッチで止めて問題ありません。
3		再設定完了後、ブラインドユニットを正しい向きに取り付けてください。	ブラインドユニットのラベルを確認し、ラベル貼付け面が室内側になるようにします。（C1参照） ※配線は外付ブラインドに干渉しないよう処理してください。
4		C4を参照し、下限位置の設定変更を行ってください。	
5			

初期動作確認

[目次に戻る](#)

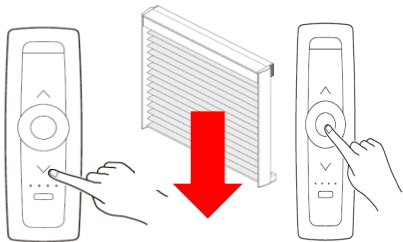
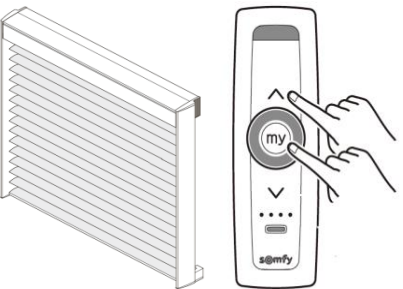
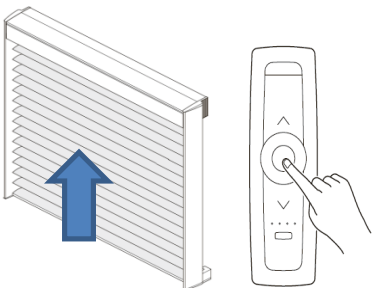
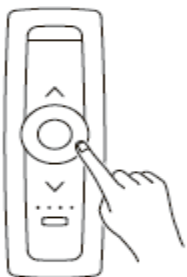
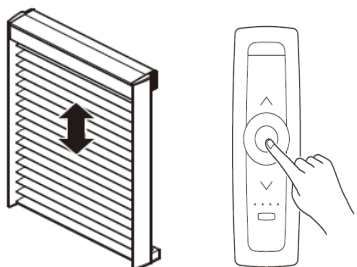
設定が全て完了したら動作確認を実施します。
ここではその動作確認について説明します。

No.	作業手順		注意事項・ポイント
1		リモコンの閉スイッチを押します。 下限位置で自動で停止することを確認します。	※自動で停止しない場合は下限位置の設定が完了していませんので、再度下限位置の設定を実施してください。
2		リモコンの開スイッチを押します。 上限で自動で停止することを確認します。	
3		再度、リモコンの閉スイッチを押します。	
4		全閉状態でリモコンのコントロールホイールを回して外付ブラインドの角度が変わることを確認してください。	
5		リモコンの開スイッチを押し、上昇中に停止スイッチを押してブラインドが停止することを確認します。 再度リモコンの開スイッチを押して上限まで動作させたら確認完了になります。	

お気に入り位置の登録のしかた

[目次に戻る](#)

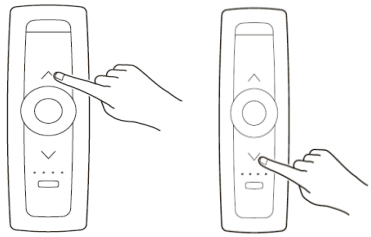
ここではお気に入り位置の登録のしかたについて説明します。

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	 リモコンの閉スイッチを押して、外付ブラインドを下限位置まで動かします。 下限位置になったら、1度停止スイッチを押します。	
2	 リモコンの開スイッチと停止スイッチを同時に約3秒押すと設定モードに入ります。	
3	 お気に入り位置に設定したい位置に合わせます。	
4	 外付ブラインドのスラットに角度をつけた位置でお気に入りにする場合は、コントロールホイールを使って設定したい位置にします。	※「スラットに角度を付けた位置」をお気に入り位置に設定する場合は下限位置のみ設定可能です。
5	 設定したい位置になりましたら停止スイッチを約2秒間押します。 外付ブラインドが小さく上下に動きます。	

お気に入り位置の使い方

目次に戻る

ここではお気に入り位置の使い方について説明します。

No.	作業手順		注意事項・ポイント
1		開スイッチを押して上限位置 もしくは閉スイッチを押して下限位置 に移動させます。	
2		1 の操作をしてから 3 分以内に 停止スイッチを押します。 動かない場合は、再度停止スイッチ を押してください。	この時、上限位置にいる場合は、 下限まで一度動いて、約 3 分後に 設定位置まで動きます。 下限位置で操作した場合はすぐに 設定した位置まで動きます。

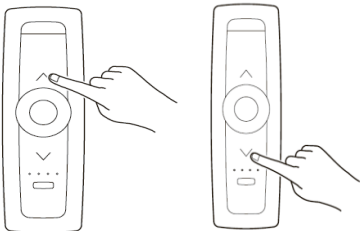
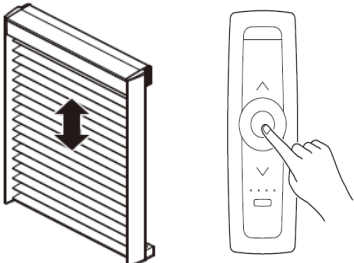
※中間位置（上限・下限でない位置）にしたところから停止スイッチを押すと、設定した位置には動きません。
必ず、上限・下限のどちらかの位置にしてから動かしてください。

※陽光センサーにて動かす場合も同様です。
陽光センサーで設定位置まで動かす場合も上限、下限の状態になっていないと
設定位置まで動きません。

お気に入り位置の登録解除のしかた

[目次に戻る](#)

ここではお気に入り位置の登録解除の仕方について説明します。

No.	作業手順		注意事項・ポイント
1		開スイッチを押して上限位置 もしくは閉スイッチを押して 下限位置に移動させます。	
2		1 の操作をしてから 3 分以内に 停止スイッチを押します。 動かない場合は、再度停止スイッチを 押してください。	この時、上限位置にいる場合は、 下限まで一度動いて約 3 分後に 設定位置まで動きます。 下限位置で操作した場合はすぐに 設定した位置まで動きます。
3		お気に入り位置で停止スイッチを 4秒間押し続けると、設定した 位置が解除されます。 解除が完了するとブラインドが 小さく上下に動きます。	

陽光センサーのON/OFFのしかた

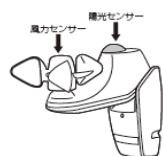
[目次に戻る](#)

ここでは陽光センサーのON/OFFのしかたについて説明します。

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	 ON	陽光センサーをONにする場合はリモコンの開・閉スイッチを同時に約2秒間押します。 切り替わると外付ブラインドは小さく上下に動きます。
2	 OFF	陽光センサーをOFFにする場合はリモコンの開・閉・停スイッチを同時に約2秒間押します。 切り替わると外付ブラインドは小さく上下に動きます。

風力・陽光センサーはオプション品になります。

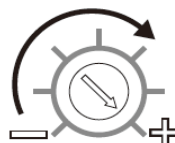
陽光センサーは設定した明るさを検知すると登録したお気に入り位置まで自動で動きます。（全開または全閉時）暗くなった場合、全閉状態となります。



風力・陽光センサー

■陽光センサー設定

増加する



季節や地域条件により、お好みの明るさで設定してください。

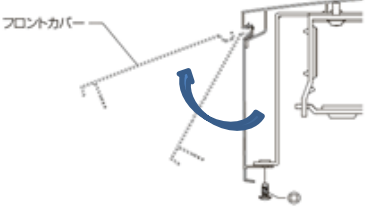
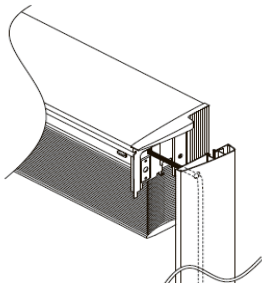
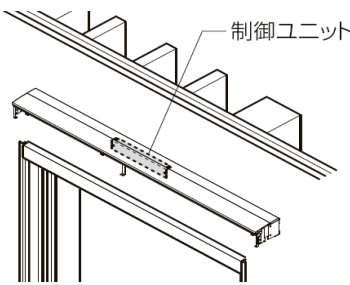
●ダイヤル位置と検知感度

陽光感度ダイヤル	陽光検知感度 (ルクス)	明るさの目安
+(7目盛)	55,000	晴天の昼間
6目盛	47,000	
5目盛	35,000	
4目盛	28,000	
3目盛	22,000	晴天の夕方
2目盛	15,000	
-(1目盛)	9,000	
		曇りの昼間

制御ユニットへのアクセス方法

[目次に戻る](#)

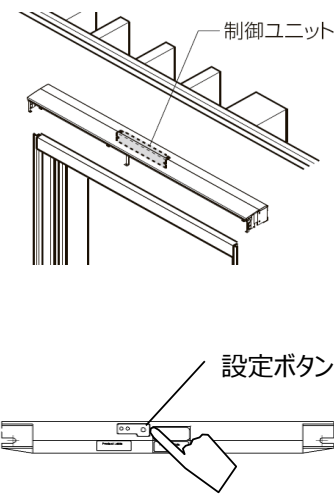
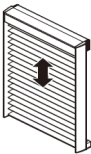
※リモコンを紛失もしくはリモコンが故障した場合には、あらたなりモコンを準備して対応してください。
下記手順を行ってください。

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1		フロントカバーを外します。
2		ガイドレールを外します。
3		ブラインドを持ち上げながら 制御ユニットが見える状態にします。 ブラインドを持ち上げても、制御ユニットに アクセスしづらい場合はブラインドユニットを 一度おろしてください。
4		制御ユニットを確認の上、オールクリア、 リモコンの再登録の実施をします。
5		

オールクリア方法

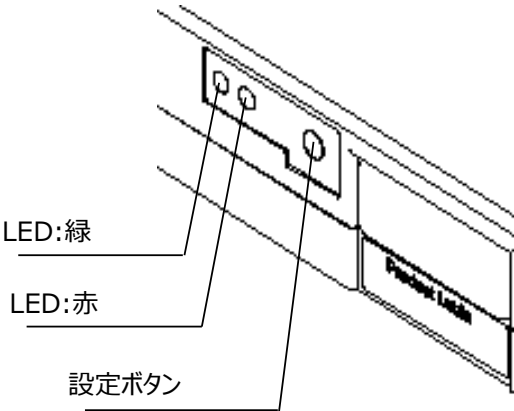
[目次に戻る](#)

ここではオールクリア（設定クリア）をする方法について説明します。

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	 制御ユニット 設定ボタン 7秒長押し 制御ユニットの設定ボタンを7秒間押し続けます。全ての設定がオールクリアされます。 ※制御ユニットは、ブラインドユニット本体の裏（ユニットケース）に設置されています。	※外付ブラインドは小さく上下に動きます。  制御ユニットのLEDは、赤と緑のLEDが同時に点滅し、その後緑LEDが点灯します。

※ オールクリア後は、「リモコン登録方法」【C15～17】を参照して、再登録・再設定してください。

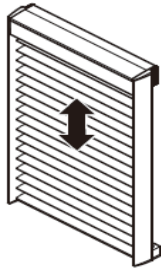
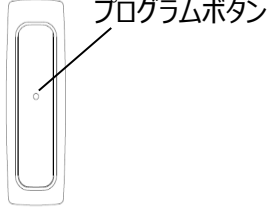
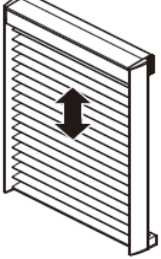
リモコンの再登録をする場合、本体内部の制御ユニットのLED（緑）が点灯していることを確認してください。



リモコン登録方法（制御ユニットへの登録）

[目次に戻る](#)

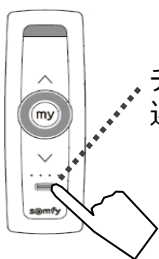
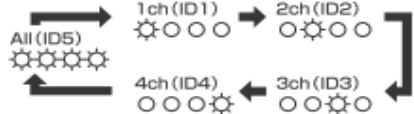
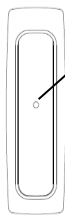
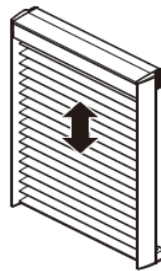
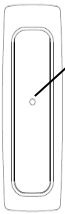
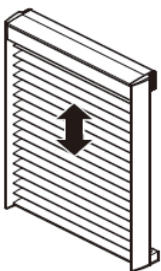
※工場出荷時はリモコンの登録はされています。設定をクリアした場合は、必ずリモコンを制御ユニットに登録してください。

No.	作業手順		注意事項・ポイント
1		登録したいリモコンのチャンネル選択ボタンを押して、チャンネルを選択します。	 ■チャンネルの選択方法 現在選択されているチャンネルが約5秒間早い点滅をし、点滅している間にチャンネル選択ボタンを押すとチャンネルが切り替わります。
2		リモコンの「開」「閉」を同時に押します。	※ブラインドは小さく上下に動きます。 
3		リモコンのプログラムボタンを1度短く（0.5秒）押します。	※ブラインドは小さく上下に動きます。 
4		リモコンの登録が完了します。	

追加リモコン登録方法（リモコン）

[目次に戻る](#)

外付ブラインドは付属されているリモコンが5chリモコンになっています。
登録する場合は、どのチャンネルに登録するかを選択してから行います。

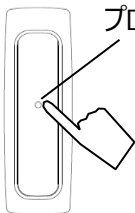
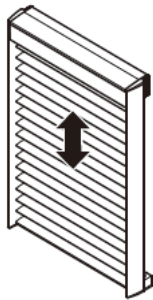
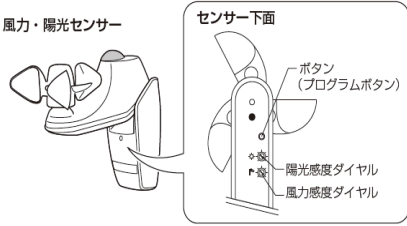
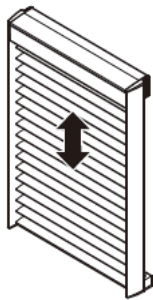
No.	作業手順		注意事項・ポイント
1	 チャンネル 選択ボタン	登録したいリモコンの チャンネル選択ボタンを押して、 チャンネルを選択します。	 ■チャンネルの選択方法 現在選択されているチャンネルが約5秒間 早い点滅をし、点滅している間に チャンネル選択ボタンを押すとチャンネルが 切り替わります。
2	 プログラムボタン	最初に登録されているリモコンの プログラムボタンを外付ブラインドが 小さく上下に動くまで(約2秒)押しま す。	※外付ブラインドは小さく上下に動きます。 
3	 プログラムボタン	追加で登録したいリモコンの プログラムボタンを1度短く（0.5秒） 押します。 その後、外付ブラインドが小さく上下 に動きます。 追加したリモコンと最初に登録されて いるリモコンの両方が動くことを 確認します。	※外付ブラインドは小さく上下に動きます。 

※外付ブラインド1台ずつの登録が必要となります。
登録するチャンネル数に合わせて上記の手順を繰り返し行ってください。

注意) No.3の作業でリモコンのプログラムボタンを誤って長く押してしまうとリモコンの追加登録ができなくなります。
誤って実施した場合は、リモコンの操作が復帰するまで（約2分）待つかオールクリアを実施して
再度この作業を実施してください。

追加リモコン登録方法（風力・陽光センサー）

[目次に戻る](#)

No.	作業手順		注意事項・ポイント
1		登録されているリモコンのプログラムボタンを外付ブラインドが小さく上下に動くまで（約2秒）押します。	※外付ブラインドは小さく上下に動きます。 
2		追加で登録する風力・陽光センサーのプログラムボタンを1度短く（0.5秒）押します。その後、外付ブラインドが小さく上下に動きます。風力・陽光センサーと最初に登録されているリモコンの両方が動くことを確認します。	※外付ブラインドは小さく上下に動きます。 

※風力・陽光センサーは複数台の外付ブラインドの登録が可能です。

※リモコンに複数台の外付ブラインドが登録されている場合、一斉操作のchで上記操作をすることで、1台の風力・陽光センサーにそれぞれの外付ブラインドが一斉登録されます。

また、個別操作のchで上記操作をすることで、風力・陽光センサーにそのchの外付ブラインドが登録されます。

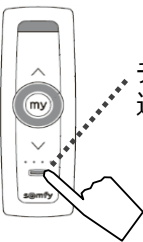
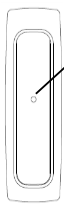
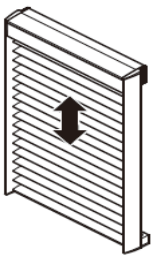
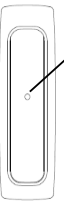
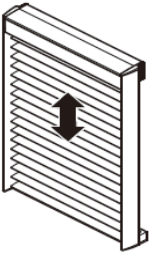
※風力・陽光センサーに外付ブラインドを追加登録する場合、追加したい外付ブラインドが操作可能なリモコンを使用して上記操作を行ってください。

注意) No.2の作業で風力・陽光センサーのプログラムボタンを誤って長く押してしまうと風力・陽光センサーの追加登録ができなくなります。誤って実施した場合は、風力・陽光センサーの操作が復帰するまで（約2分）待ち、再度実施してください。

追加リモコンの削除方法

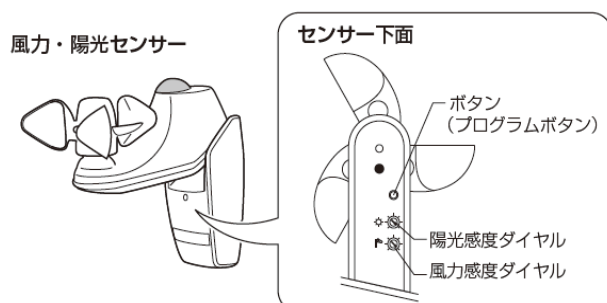
[目次に戻る](#)

ここでは追加したリモコンの削除する方法を説明します。

No.	作業手順		注意事項・ポイント
1		削除したいリモコンのチャンネル選択ボタンを押して、チャンネルを選択します。	 ■チャンネルの選択方法 現在選択されているチャンネルが約5秒間早い点滅をし、点滅している間にチャンネル選択ボタンを押すとチャンネルが切り替わります。
2		最初に登録されているリモコンのプログラムボタンを外付ブラインドが小さく上下に動くまで(約2秒)押します。	※外付ブラインドは小さく上下に動きます。 
3		登録を削除したいリモコンのプログラムボタンを1度短く(0.5秒)押します。 その後、外付ブラインドが小さく上下に動きます。	※外付ブラインドは小さく上下に動きます。 
4		登録削除したリモコンで動かないことを確認します。	

外付ブラインドのリモコンはリモコン自体が 5 ch 持っています。まず初めにチャンネル選択ボタンを押してチャンネルを選択します。次に上記No.2,3の手順でリモコンを削除します。

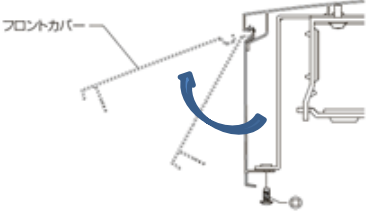
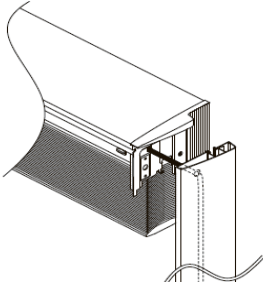
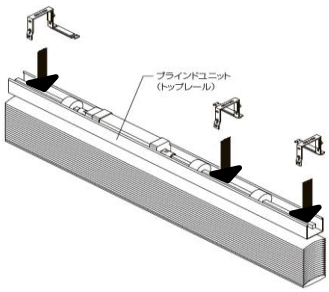
風力・陽光センサーの場合は、登録解除したいリモコンとしてセンサーのプログラムボタンを押します。



制御ユニットの交換①

[目次に戻る](#)

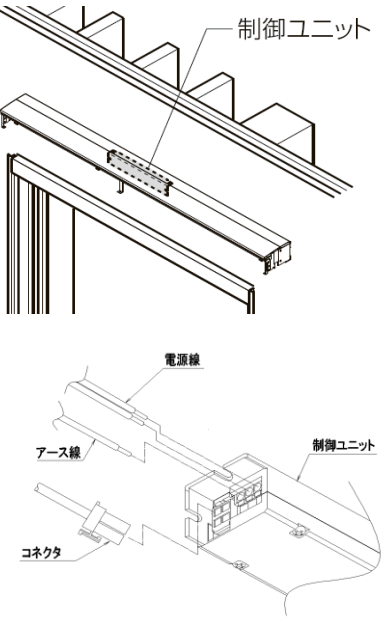
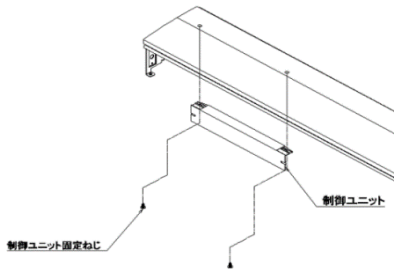
制御ユニットの交換方法について説明します。

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1		フロントカバーを外します。 ※安全のためブレーカーは落して行ってください。 ※フロントカバーを固定しているネジはゆるみ止付きです。 取り外す際、ネジ頭をつぶさないように注意してください。
2		ガイドレールを外します。
3		制御側からのコネクターとブラインドユニットからのコネクターを外します。
4		ブラインドユニットを一度外します。

制御ユニットの交換②

[目次に戻る](#)

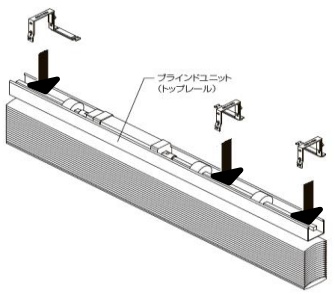
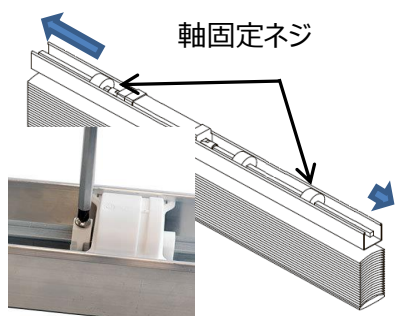
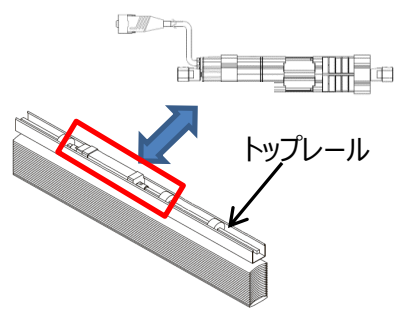
制御ユニットの交換方法について説明します。

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1		制御ユニットから電源線・アース線を抜いてください。 電源線・アース線を抜くときは、その下のボタンを押しながら抜いてください。
2		制御ユニットは両端2か所でネジ止めされています。
3		逆の手順で元に戻します。 交換後はリモコンの再登録を行います。 ※フロントカバーを固定しているネジは新しいものに交換してください。
4		

モータの交換

[目次に戻る](#)

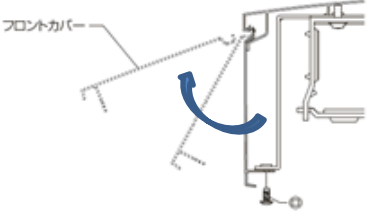
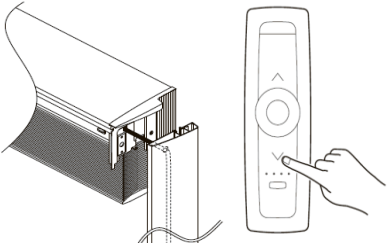
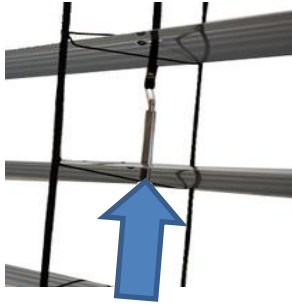
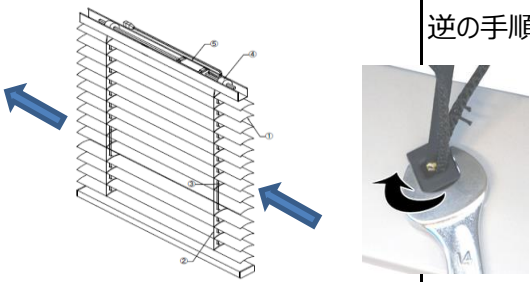
モータが故障している場合、モータを交換します。

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	 ブラインドユニット (トップレール)	ブラインドユニットを外します。 ブラインドユニットを外す工程はC19を確認してください。
2	 軸固定ネジ	図示するあたりにある軸を固定している部品のネジをゆるめ、軸自体をモータから左右に動かします。 軸の固定ネジがゆるめづらい位置にある場合は本体を再度吊りこみ、軸の位置を変えてからこの作業をしてください。
3	 トップレール	準備した交換用モータと入れ替えます。
4		逆の手順で元に戻します。 ※フロントカバーを固定しているネジは新しいものに交換してください。
5		下限位置の設定をします。 交換したモータは下限位置が登録されていませんので、モータ交換後は下限位置の設定を実施してください。

スラットの交換

[目次に戻る](#)

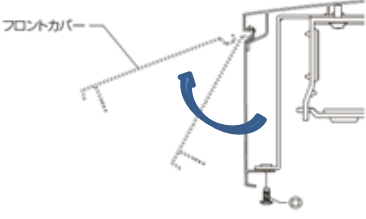
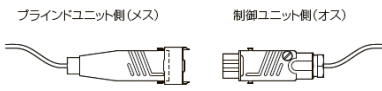
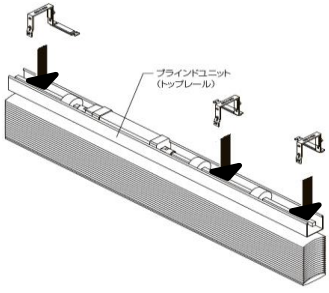
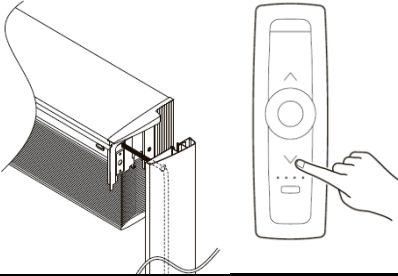
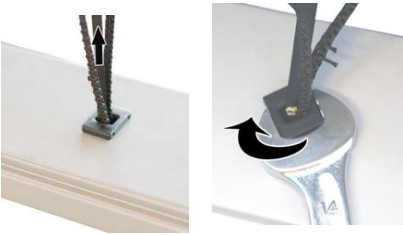
スラットにへこみ等があり、動作に支障をきたす場合、スラットを交換します。

No.	作業手順		注意事項・ポイント
1		フロントカバーを外します。	※安全のためブレーカーは落して行ってください。 ※フロントカバーを固定しているネジはゆるみ止め付きです。 取り外す際、ネジ頭をつぶさないように注意してください。
2		ガイドレールを外し、外付ブラインドを下限位置まで作動させます。	
3		ボトムスラットのテープ等の固定部分を外しボトムスラットを外します。	
4		交換するスラットまで、リフティングテープを抜き取ります。	
5		交換するスラットを入れ替え、逆の手順で元に戻します。	固定部分は スラットの落下 につながりますので 確実に固定してください。

リフティングテープの交換①

[目次に戻る](#)

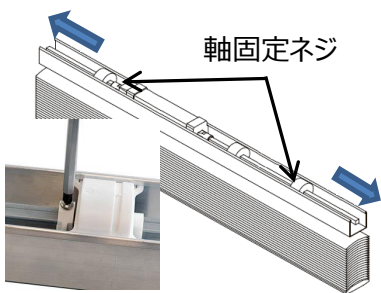
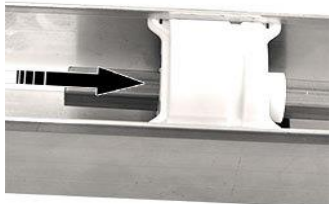
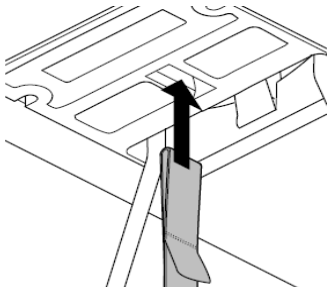
リフティングテープが破断等している場合はテープの交換を行います。

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1		フロントカバーを外します。 ※安全のためブレーカーは落して行ってください。 ※フロントカバーを固定しているネジはゆるみ止め付きです。 取り外す際、ネジ頭をつぶさないように注意してください。
2		制御側からのコネクターとブラインドユニットからのコネクターを外します。
3		ブラインドユニットを一度外します。
4		ガイドレールを外し、外付ブラインドを下限位置まで作動させます。
5		ボトムスラットのテープ等の固定部分を外しボトムスラットを外します。

リフティングテープの交換②

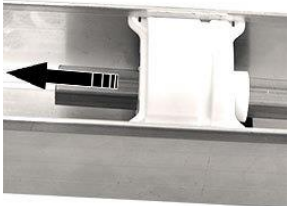
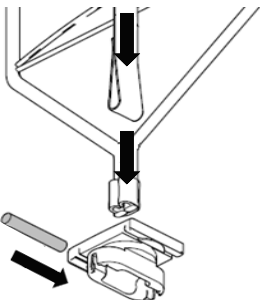
[目次に戻る](#)

リフティングテープが破断等している場合はテープの交換を行います。

No.	作業手順		注意事項・ポイント
1	 軸固定ネジ	図示するあたりにある軸を固定している部品のネジをゆるめ、軸自体をモータから左右に動かします。	軸の固定ネジがゆるめずらい位置にいる場合は本体を再度吊りこみ、軸の位置を変えてからこの作業をしてください。
2		ブラインドの軸を抜き取ります。	
3		リフティングテープを固定している固定ピンを抜き取ります。	
4		リフティングテープをテープホルダーから抜き取ります。	
5		交換用のテープを準備してテープホルダーに入れます。	

リフティングテープの交換③

リフティングテープが破断等している場合はケーブルの交換を行います。

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1		テープの先端部分を固定ピンで固定します。
2		軸を元に戻します。
3		部品のネジを止め、軸を固定します。
4		各スラットにテープを通します。
5		固定ピンを元に戻します。

リフティングテープの交換④

[目次に戻る](#)

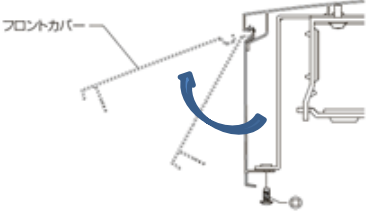
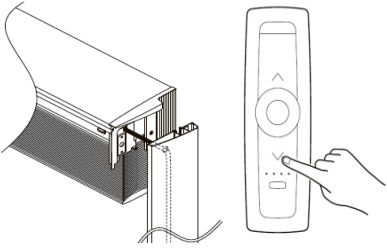
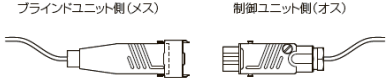
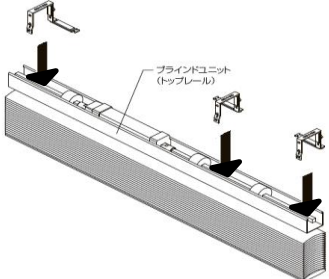
リフティングテープが破断等している場合はテープの交換を行います。

No.	作業手順		注意事項・ポイント
1		ボトムスラットの固定部をスパナ等で固定します。	固定部分は スラットの落下 につながりますので確実に固定してください。
2		分解した手順で元に戻します。 正常に動くことを確認してください。	
3			
4			
5			

ティルティングテープの交換①

[目次に戻る](#)

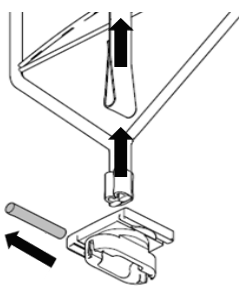
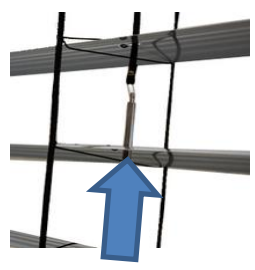
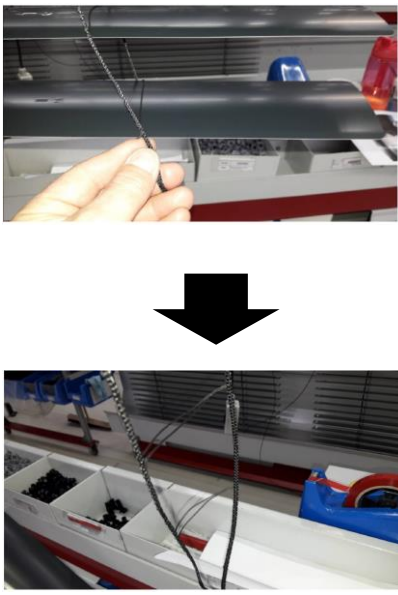
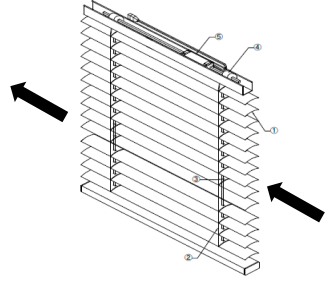
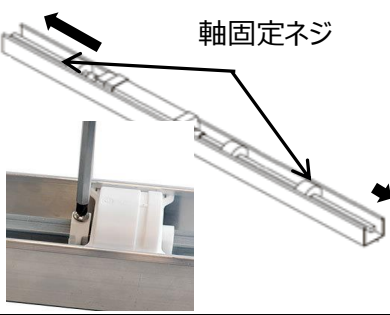
ティルティングテープが破断等している場合はテープの交換を行います。

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1		フロントカバーを外します。 ※安全のためブレーカーは落して行ってください。 ※フロントカバーを固定しているネジはゆるみ止め付きです。 取り外す際、ネジ頭をつぶさないように注意してください。
2		ガイドレールを外し、外付ブラインドを下限位置まで作動させます。
3		制御側からのコネクターとブラインドユニットからのコネクターを外します。
4		ブラインドユニットを一度外します。
5		ボトムスラットのテープ等の固定部分を外しボトムスラットを外します。

ティルティングテープの交換②

[目次に戻る](#)

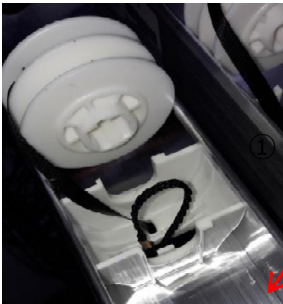
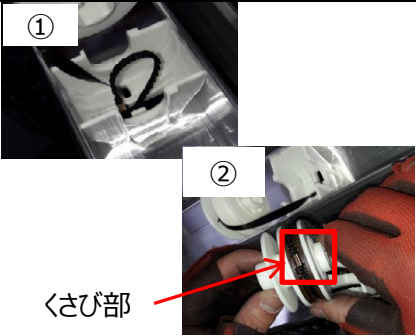
ティルティングテープが破断等している場合はテープの交換を行います。

No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	 固定ピンを外して ティルティング、リフティングテープを 樹脂部品から外します。	
2	 スラットからリフティングテープを 上方方向に抜きます。	
3	 ティルティングテープからスラットを 外します。	※スラットを横にスライドさせて抜きます。  ※抜いたスラットはどこから抜いたか分かるよう に管理してください。 ※キズを付けないように注意してください。
4	 軸固定ネジ 図示するあたりにある軸を 固定している部品のネジを ゆるめ、軸を引き抜きます。	軸の固定ネジがゆるめづらい位置にある 場合は本体を再度吊りこみ、軸の位置を 変えてからこの作業をしてください。

ティルティングテープの交換③

[目次に戻る](#)

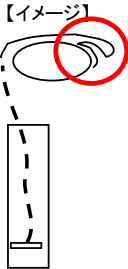
ティルティングテープが破断等している場合はテープの交換を行います。

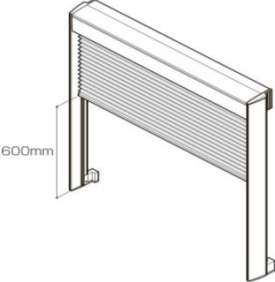
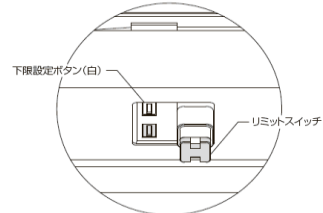
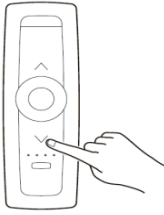
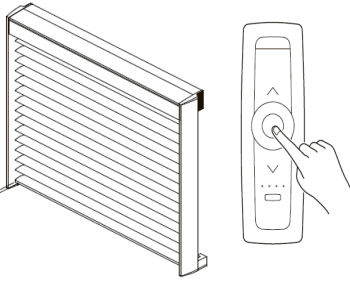
No.	作業手順	注意事項・ポイント
1	 くさび部	①テープホルダーのフタを開け、テープロールを取り出します。 ②くさび部をテープロールから外します。 ※写真ではティルティングテープのみ写っていますが実際は、リフティングテープもテープロールにまかれています。
2	 トップレール	
3	①  くさび部 ②	新しいティルティングテープに交換します。 ①トップレール、テープホルダーにティルティングテープを通します。 ②くさび部をはめ込みます。
4		交換が完了したら逆の手順で元に戻します。 下限位置設定を行い初期動作確認を行ってください。 ※正常に動くか確認をしてください。 固定部分はスラットの落下につながりますので確実に固定してください。
5		

スラット片下がりの補修方法（リフティングテープの補修）

目次に戻る

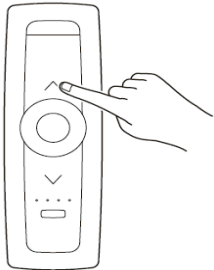
ここではスラット片下がりの補修のしかたについて説明します。
ブラインドを下げる際に異物等に当たり、そのまま巻き取ったことでリフティングテープが片側だけ折れ曲がりきれいに巻けず片下がりが起きることがあります。
片下がりの場合は、下記の手順に従ってリフティングテープを一度全て引き出し、再び巻き上げることで補修することができます。



No.	作業手順		注意事項・ポイント
1		下限位置から上部600mm程度の位置まで外付ブラインドを動かし停止スイッチで外付ブラインドを停止させます。	
2		ブラインドユニット下部（ユニットケース内）のモータの下限設定ボタン（白）とリミットスイッチを同時に押し込みます。	
3		下限設定ボタン（白）とリミットスイッチを押し込んだまま、リモコンの閉スイッチを押して、外付ブラインドを下降させます。	ブラインドの下降が始まると、下限設定ボタン（白）が固定されるので、下限設定ボタン（白）とリミットスイッチから手をはなします。
4	 	下限設定位置で 停止させず 、スラットが少し（スラット1～2枚程度）上昇するところで停止させます。 下限位置から上昇するまでは、リフティングテープがケースの中で空回りした状態になります。リフティングテープを引き出しながら下げてください。（写真①） ※この操作により、ケースの中のリフティングテープが全て引き出され折れ曲がりを修正することができます。	※下限位置で停止スイッチを押さないことで上昇していきます。 スラットが1～2枚程度上昇したら、すぐに停止スイッチを押してブラインドを停止させてください。停止スイッチを押さず上限まで作動させると破損する可能性があります。 ※スラットが勢いよく下がる場合がありますので注意してください。

スラット片下がりの補修方法（リフティングテープの補修）

[目次に戻る](#)

No.	作業手順		注意事項・ポイント
6		リモコンの開スイッチを押して 外付ブラインドを開方向に 作動させます。 この時、モータの 下限設定ボタン（白）が戻り、 補修が完了します。	※引き出したリフティングテープがねじれない 様に注意してください。 ※開スイッチを押すと始めは下降しますが、 リフティングテープが全て出ること で上昇します。
7	下限位置を正しい位置に再設定	C4を参照し、正しい位置に下限を設 定します。	

改廃履歴